

令和4年2月10日

東京都知事  
小池 百合子 殿

自由民主党荒川区議会議員団

土橋 圭子 鎌田 理光 町田 高 中島 義夫  
菅谷 元昭 明戸真弓美 茂木 弘 並木 一元  
斎藤 泰紀 北城 貞治 志村 博司

旧東京女子医科大学東医療センターを活用した  
臨時医療施設に関する緊急要望について

昨日、報道発表のあった、旧東京女子医科大学東医療センターを活用した臨時の医療施設の設置について、感染急拡大による感染者の急増や医療機関での受入れが困難な事例が増加している現下の危機的状況に鑑み、早急な医療・療養体制の拡充が必要との趣旨は理解しております。しかしながら、今回、区をはじめとする関係機関との調整開始直後の段階であるにもかかわらず、その合意がないまま、先行して発表に至ったことは極めて遺憾であります。

このような事態は、これまで緊密に連携・協力しながら新型コロナウイルス対策をはじめとする各種取組を推進してきた都区間の相互の信頼関係を著しく損なうものであります。

自由民主党荒川区議会議員団は、今回の事態を重く受け止め、下記の事項の遵守・徹底を強く要望いたします。

記

- 1 地元の意向をないがしろにしたまま、拙速に事務を進めるようなことは、今後一切行わないこと。
- 2 臨時の医療施設としての旧東医療センターの活用は、令和5年1月当初の新病院の開設スケジュールに影響を及ぼさないことが前提条件であり、それを厳守すること。
- 3 区の保有施設を活用した臨時の医療施設であることを踏まえ、できる限り荒川区民が優先的に利用できるようにすること。
- 4 令和5年1月当初の新病院の開設に向け、都庁内の関係部署はもとより、関係機関と円滑な調整が図れるよう、東京都として最大限の支援を行うこと。